

2次マスターコース(土日通学)

S・Yさん

【はじめに】

「1年前にMMCと出会っていなければ今年の2次試験合格はなかっただろう」心からそう思っています。その恩返しの意味も込めて合格体験記を書きます。

【中小企業診断士を受験した動機】

- ・今まで取引先に対してコンサル(的なもの)を行う機会が多かったが、体系的でなかったため、体系的な知識を学びたい。
- ・会社名や肩書ではない、自分の強みを作りたい。
- ・社外のネットワークを作るきっかけを作りたい

【受験年度】

2011年 1次試験 合格、2次試験 不合格(DBAD=C)

2012年 2次試験 合格

【1年目の学習】

1年目は他校のDVD通信講座を受講して1次試験は何とか合格しました。しかし1次対策に手いっぱいだったので、2次対策に入ったのは1次試験終了後でした。1次と違って明確な学習方法が見えず、やみくもに過去問を解いて臨みましたが結果は、DBAD=Cという惨憺たるものでした。

1次試験の対策として行ったことは以下の通りです。

- DVD通信講座のDVDの視聴(3回転)
- DVDの音声をICレコーダーに録音し、移動中に2倍速で聴く(通勤の歩行時など)→最初は1.3倍くらいから始め、徐々にスピードを上げていけば2倍速で普通に聴くことができるようになります
- 通信講座の演習
- 問題集(3回転)
- 過去問(1回転)

1次は科目も多く、相当量の問題をこなす必要があります。インプットに時間をかけすぎないようにし、アウトプット(問題演習)中心の学習にすることがポイントだと思います。私の場合も、もう少しインプットを早く終わらせて過去問を3回転くらいできていれば良かったかなと思います(結果的に通ったので良かったのですが)。

?1年目の2次試験対策は結果がでなかったため、割愛します。

【予備校の選択】

1年目の2次試験が終わってから、6校の解答速報会や講座説明会に参加しました。MMCの説明会に参加してみて、「これしかない！」と思い、すぐにMMCの通学講座に申し込みました。そう判断した理由は以下の点にあります。

- ・つかみどころのなかった2次試験に対して明確な合格メソッドがある

- ・2011年の通学生の合格率が61%と他校を圧倒している(2012年も途中段階で50%を超えていると聞きました)。
- ・当日の午前中に行った答練の添削が、個別アドバイス付きで即日返却される。
- ・再答案を何度でも添削してもらえる。
- ・振替受講制度がある(土曜コースの私の場合でいうと、日曜日と平日夜間に振替が可能＝必ずしも毎週土曜に休みが取れると限らなかったのも、振替日が2日あるというのは安心感がありました)。

【2年目の学習】

最初に決めたことは、MMCを信じて1年間やりきることでした。2次試験は正解も発表されず、模範解答も各校でまちまちです。いろいろ手を出せば軸がぶれることになり、結局中途半端になる可能性が高くなると考え、MMCに集中することにしました。2次対策として私が行ったことは以下の通りです。

■MMCの過去の全ての合格体験記を読み、エッセンスを抽出する

→自分の学習計画の立案やモチベーション維持にとっても効果がありました

■自分のオリジナル・キーワードマトリクスの作成

→前田先生から3月末までに作成するよう指示がありました。その後も随時、修正を加えました。やはり、中居先生、徳川先生もよく言われていますが、自分が使えるキーワードで作ることがポイントだと思います。

■答練の再答案作成を返却当日(遅くとも翌日)に行う。

→解いたときの感触やアドバイスの記憶が鮮明なうちに行うことが効果的です。

■再答案は納得がいくまで(80点をもらうまで)、何度でも作成して添削してもらう。

→自分の現状での最高の答案を目指して、最後の1点、2点のレベルまでこだわったことが実力向上に繋がったと思います。

■Web動画の講義をICレコーダーに録音し、通勤の歩行時などに2倍速で聴く

→インプット講義や答練の解説講義を繰り返し聴くことで、MMCの考え方を頭に定着させました。

■8月位～ 答練や過去問の問題と自分の解答、MMCの模範解答をICレコーダーに録音し、通勤の歩行時などに2倍速で聴く

→8月位からはより実践的に、設問を聴いて解答の骨子を思い浮かべるトレーニングを行いました。その際に注意したいのは、解答を丸暗記するのではなく、MCサークルや切り口、キーワードマトリクスを意識することです。このトレーニングをやってから成績も上昇しました。また、この時期に苦手だった事例I(前年の本試験でD)の答練で1位を取ることができたのも大きな自信になりました。

■GWの財務事例徹底特訓講座の問題集を1日2問(最低でも1問)ずつ毎日解く

→財務は苦手でしたが、この問題集を繰り返すことで着実に力がついたと思います。私の場合5回転目標で4回転しかできませんでしたが、財務が苦手な方はこの問題集を繰り返すことをお勧めします。

■過去問演習

私の場合、途中から仕事が忙しくなったこともあり、過去問を解いている時間がなくなってしまい、1年目に過去5年分を2回転しましたが、2年目は過去問演習ができませんでした。そのかわりに設問と模範解答を事例別、年度別に1頁ずつにおさめ、空き時間に繰り返し見たり、ICレコーダーに入れて何度も聴きました。過去の合格体験記にあるように、本来ならば、過去問も自分で解いてMMCの先生に添削をお願いすべきだったと思います。

【最後に】

12月7日(金)の筆記試験の合格発表の日、診断協会のサイトを見に行く時の気持ちは、不合格を確認する儀式のようでした。というのも、事例Ⅰから事例Ⅲは各1問から2問、全く題意を外した解答をしてしまった上に、事例Ⅳは全問解いたもののポカミスが多く、足切りにかかったかもしれないと思ったからです。自分の中では不合格を覚悟し、すでに来年に向けて1次試験の勉強を開始していたくらいです。このような状況だったので、サイト上に自分の番号を見つけた時は信じられず、何度も何度も確認しました。嬉しさよりも信じられない気持ちでいっぱいでした。そして、12月26日の最終発表でようやく合格を実感しました。

私はこの体験記の冒頭で、MMCと出会っていなければ今年の2次試験合格はなかったと書きました。それは、自分の中では「大失敗」と思える出来でも合格ラインに達するくらいまで、MMCの先生方にレベルを引き上げてもらったということです。1年前の2次試験で2つもDをもらい、総合評価Cでどうすれば良いか途方に暮れていた私が合格できたのは、MMCと出会えたからです。

成績が上がらずにもがいていた時に的確なアドバイスをいただき、試験前日には励ましの電話をいただいた徳川先生。いつも“愛ある毒舌”のアドバイスをいただき、最後の模試返却の時に「このままいつものとおりやれば大丈夫」と声をかけてくださった中居先生。何度再答案を出してもいつも丁寧にコメントを書いてくださった大谷先生。私がMMCにお世話になるきっかけ(講座説明会での添削とアドバイス)を作ってくくださった久保先生。この他、前田先生はもちろんのこと、中矢先生、杉森先生、川橋先生、本当にありがとうございました！